

報道関係者の皆さま

2022年6月吉日
一般社団法人 崇徳厚生事業団

【取材依頼】 高校生対象『医療・福祉のプロに会いに行こう2022』を

8月5日（金）に開催します。

崇徳厚生事業団グループ（以下、「当グループ」）は、地元の高校生等を対象に、医療・福祉の若手専門職との交流機会を提供するため、高校生向け医療・福祉の魅力発信事業『医療・福祉のプロに会いに行こう2022』を開催します。（概要は別添実施要項参照）

■事業概要

<背景・趣旨>

いわゆる「団塊の世代」が後期高齢者となる2025年が目前に迫るなか、その後も人口減少・高齢化が進み続けるとともに現役世代はさらに加速度的に減少し、2040年には世代間不均衡が極限に達すると見込まれています。

医療・介護の人材不足は今後ますます深刻化することが確実視されるなか、新型コロナウイルス感染対策等により、医療機関や高齢福祉施設、障害福祉施設等では、施設見学等の受け入れや外部との交流を中止または大幅縮小している状況が続いています。

進路選択の途上にある高校生にとって、医療・福祉のキャリアについて知る機会が著しく乏しくなっており、自身の展望や価値観と進路・キャリアのミスマッチが生じやすくなっています。また、医療・福祉業界にとっても、知っていただけないことで次代を担う人材が減少することは、今後数十年にわたって影響を及ぼす大きな損失となり得ます。

長岡市を拠点とし、医療・福祉そして人財育成を担う当グループこそ、このような状況下においても次世代へキャリア形成について考える機会を提供する責務があると考え、高校生等と若手医療・福祉専門職との交流機会として、高校生向け医療・福祉の魅力発信事業『医療・福祉のプロに会いに行こう2022』を開催します。

<日程>

2022年8月5日（金） 10：30～13：30

<会場>

長岡崇徳大学（〒940-2135 長岡市深沢町2278-8）

<その他>

事業終了後、参加高校生のほか、事業担当課長の取材対応が可能です。

■崇徳厚生事業団グループ概要

<グループ紹介>

「自分や家族、友人が利用したいサービスの提供」という共通理念に則り、新潟県長岡市を中心に医療・福祉・教育等の事業を行う6つの法人とこれら各法人の連携・協力を促進する（一社）崇徳厚生事業団の7法人で構成。職員総数約3,400名。事業規模合計約240億円。

1967年（昭和42年）、精神科の医療現場が劣悪な環境にあるなか、「開かれた精神科医療」を志して開設した「田宮病院」をはじめとし、新潟県内2番目の特別養護老人ホームとなった「わらび園」、現在も民間では県内唯一の重症心身障害児（者）受入施設である「長岡療育園」、地域包括ケアシステムの先駆けとなった「こぶし園」、仏教を背景とした緩和ケア病棟ビハークを有する「長岡西病院」、中越地域唯一の看護大学である「長岡崇徳大学」など、その時代ごとに地域社会の持つ課題や地元行政の要請に応えながら、医療・福祉・人財育成の分野を基盤に様々な事業を展開している。

<構成事業法人と主な事業所>

医療法人 崇徳会：田宮病院、長岡西病院

社会福祉法人 長岡老人福祉協会：わらび園、桃李園

社会福祉法人 長岡福祉協会：長岡療育園、高齢者総合ケアセンターこぶし園

学校法人 悠久崇徳学園：長岡崇徳大学

NPO法人 長岡医療と福祉の里 ボランティア連合会

株式会社 マイステルジャパン

<公式 Web サイト>

<http://sutokukosei.com/>



■本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 崇徳厚生事業団 事務局 課長 石坂 陽之介

TEL：070-8468-0558

Mail：ishizaka-y@sutokukai.or.jp